

# 分譲地「にじの森グリーンタウン」が優良団地として全国表彰

コスギ不動産



▲表彰を受けた小杉康之コスギ不動産社長



▲全国住宅産業協会の全国大会

▲菊陽町武蔵ヶ丘北2丁目に立地する「にじの森グリーンタウン」の一部。右側のセントラルパークを囲むように現在は多くの住宅が建っている



団地内には大型ドラッグストアのほか歯科医院、整骨院、飲食店などが出店している「にじの森プラザ」も立地

小杉社長は「これまで全国表彰されたのは大手企業がほとんど。当社は初めて申請して全国表彰されて嬉しく思います。コンパクトにした分譲地は環境・安全・健康面の3つがコンセプト。住む人の立場になって考えた点が評価されたのでは」と話している。

全国住宅産業協会は2013年4月、一般社団法人日本住宅建設産業協会と一般社団法人全国住宅建設産業協会連合会が合併して設立。中堅企業を中心に上場企業も含む全国1300社を擁する団体。

熊本市中央区九品寺3丁目の(株)コスギ不動産(小杉康之社長)は10月30日、同社が開発・分譲した菊陽町武蔵ヶ丘北2丁目の「にじの森グリーンタウン」が、全国の優良団地の中で全国表彰された。

これは一般社団法人全国住宅産業協会(東京都千代田区麹町、神山和郎会長)が毎年一度、全国から申請のあった住宅関係と宅地関係の中で、特に優良だった物件を全国大会で表彰したもの。47回目となった今年の大会は静岡県葵区紺屋町のグランディエール ブケトーカイで開催。宅地関係ではコスギ不動産の「にじの森グリーンタウン」と、大阪府藤井寺市春日丘新町の「フォレストステージ グラン藤井寺」(分譲・ファミテイホーム(株))が表彰された。

「にじの森グリーンタウン」は一昨年3月末に工事が完了、場所は、尚綱大学の北側に位置し、総敷地面積は6万6705㎡、総区画数は宅地用として165区画、商業施設用地として2区画となっている。一区画あたりの面積は、179・52㎡から264・31㎡。分譲地はコスギ不動産がハウスメーカー22社に、注文住宅用地として全区画販売した。

団地内の環境面ではソーラー照明を36基、安全面では防犯カメラを7基と非常押しボタン警報装置を5カ所設置。健康面ではゴムチップ舗装したジョギングロードを団地内外周に約1・1km設けたほか、健康踏み石遊歩道から、インターロックキング貼りのフットパス(幅員2・5m)なども設けている。また、センター公園(面積2003㎡)には防災トイレ、すべり台、ブランコ、砂場、あずま屋もある。加えて大型店舗のドラッグストアからカフェレストラン、歯科医院、整骨院、理美容店などを揃えた複合店舗「にじの森プラザ」など商業施設も立地している。

太

有明中核  
7月に稼



伊  
玉名市彰



▲「自  
もつと  
話すあ  
の森木



▲発電所